

～ 希少金属等の資源リサイクル促進に向けて ～  
**携帯電話の都内回収実験を行います**  
大学や地下鉄など20か所に回収箱設置

東京都は、社団法人電気通信事業者協会及び情報通信ネットワーク産業協会や区市町村等と連携し、金や銀などの金属の回収・リサイクルの仕組み（モバイル・リサイクル・ネットワーク<sup>1</sup>）がある携帯電話について、回収量が減少している状況を打開し、より一層のリサイクル促進を図るため、複数の拠点において使用済み端末等の回収実験を行います。

同時に携帯電話のリサイクルに関する都民の意識や行動の実態についてインターネット上でアンケート調査を行います。

**実験開始の初日(10月2日)に、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会事業部門マネージャーの相原正道氏<sup>2</sup>を招いてオープニングセレモニーを行います。**

1 詳細は別紙3

2 相原氏プロフィール別紙4

## 回収実験の概要

### 1 回収対象

携帯電話・PHSの端末本体、電池、充電器

### 2 回収箱の設置

都内20か所に携帯電話の端末等の回収箱を設置（詳細は別紙1,2）

回収・資源の再利用は、モバイル・リサイクル・ネットワークが行います。

<大学> 慶応義塾大学(三田)、早稲田大学(早稲田)、首都大学東京(南大沢)

<地下鉄> 飯田橋駅、東新宿駅、日比谷駅（東京メトロ、都営の各駅）

このほか、区役所3か所、市役所6か所、都庁舎2か所に設置

### 3 実験期間

平成20年10月2日(木)から平成20年11月30日(日)まで

### 4 その他

#### (1) 意識調査

回収実験とあわせて、携帯電話のリサイクルについて意識調査を行います。環境局ホームページ（<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp>）に、実験期間中アンケート回答用のボタンを掲示します。アンケートにご協力ください。

#### (2) 実験結果の公表

希少金属等含有製品回収促進協議会(別紙5)において、回収された端末台数、回収資源量や意識調査等の結果をとりまとめ公表します。

# オープニングセレモニーについて

## 1 日 時

平成 20 年 10 月 2 日 (木) 午前 10 時から

## 2 会 場

都庁第一本庁舎 2 階中央 総合案内付近

## 3 主な内容

- ・ 東京都有留武司環境局長及び(社)電気通信事業者協会坂田紳一郎専務理事による挨拶 (携帯電話の回収実験やリサイクルの取組紹介)
- ・ 相原正道氏による挨拶
- ・ その他 実演 (回収箱への携帯電話の投函、端末のパンチ破砕)

### 【展示】

- ・ 携帯電話の内部構造展示 (基板等に含まれる金や銀、レアメタル等)
- ・ 携帯電話回収や金属等の資源回収・再利用の仕組みについてのパネル等展示
- ・ 販売店に設置している携帯電話の破砕機 等

## 4 取材について

- ・ 取材受付は、当日、午前 9 時 40 分から 9 時 55 分まで会場で行います。
- ・ 取材の位置及び撮影場所については、制限がありますので係員の指示に従ってください。
- ・ 自社腕章の提示をお願いします。
- ・ 電源等は各自ご用意ください。

## 回収箱の設置場所

### 大学生協売店内

慶應義塾大学三田キャンパス	港区三田 2 - 1 5 - 4 5	購買施設棟 2 階
早稲田大学早稲田キャンパス	新宿区西早稲田 1 - 6 - 1	生協ライフセンター 1 階
首都大学東京南大沢キャンパス	八王子市南大沢 1 - 1	生協購買書籍部 1 階

### 地下鉄駅構内(案内図別添)

飯田橋駅	東京メトロ有楽町線・南北線 / 都営大江戸線 駅長事務室 駅事務室
東新宿駅	東京メトロ副都心線 駅事務室 / 都営大江戸線 駅長事務室
日比谷駅	東京メトロ日比谷線 駅事務室 / 都営三田線 駅長事務室

### 区役所・市役所

荒川区役所	荒川区荒川二丁目 2 番 3 号	区庁舎 1 階
練馬区役所	練馬区豊玉北六丁目 12 番 1 号	区庁舎 1 階
足立区役所	足立区中央本町一丁目 17 番 1 号	区庁舎 1 階
立川市役所	立川市錦町三丁目 2 番 26 号	市庁舎 1 階
武蔵野市役所	武蔵野市緑町二丁目 2 番 28 号	市庁舎 1 階
昭島市役所	昭島市田中町一丁目 17 番 1 号	市庁舎 1 階
町田市役所	町田市中町一丁目 20 番 23 号	市庁舎 1 階
福生市役所	福生市本町 5 番地	市庁舎 1 階
多摩市役所	多摩市関戸六丁目 12 番 1 号	市庁舎 1 階

### 東京都庁

第一本庁舎・第二本庁舎	新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号	各庁舎 1 階総合案内付近
-------------	-------------------	---------------

# 回収箱の概要

- ・ 大きさ           タテ 40cm × ヨコ 40cm × 高さ 100cm
- ・ 材質             スチール
- ・ 重量             約 25kg
- ・ 回収可能台数   200 台

## 回収箱外観

### 投入口



## 案内板内容（携帯電話の回収・リサイクルについての説明）

### 回収実験実施中   ～11月30日まで～

#### 回収BOXご利用にあたって

- ・ ご不要になった携帯電話、電池、充電器を携帯電話会社、メーカーを問わず、回収させていただきます。
- ・ 携帯電話、電池、充電器以外のものは、投入されないようお願いいたします。
- ・ 本体に記憶されている個人情報(電話帳、通信履歴、メール等)は、投入前に消去してください。
- ・ **一度、回収した携帯電話、電池、充電器等の返却には応じられませんので、あらかじめご了承ください。**
- ・ モバイルリサイクルネットワークが責任をもって、個人情報を消去し、100%リサイクルいたします。

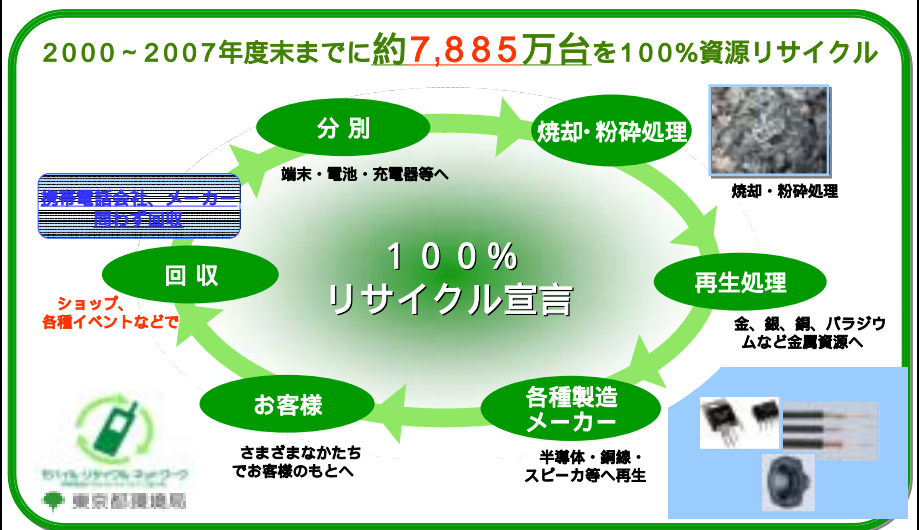
お問い合わせ先：0120-105-689  
(受付時間：平日 9:30-18:00)

[携帯電話のリサイクルについて  
ウェブアンケートにご協力ください](#)

[東京都環境局](#)    [検索](#)

## 使用済み携帯電話の回収・リサイクル

東京都とモバイルリサイクルネットワークでは、ケータイのリサイクルを通じて、貴重な資源の有効活用と廃棄物の削減に取り組んでいます。



## モバイル・リサイクル・ネットワーク

モバイル・リサイクル・ネットワークとは、社団法人電気通信事業者協会（TCA）と情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）の共同による携帯電話・PHSの資源の有効利用の取組です。

平成13年4月から、通信サービス提供事業者、端末メーカーに関係なく無償で、使用済みの携帯電話・PHSの本体、電池、充電器を全国約10,400店（平成20年3月末現在）で、自主的に回収を行っています。

端末の高機能化、多機能化が進展し回収台数が減少傾向にあることから、今後の取組として消費者に対する情報提供施策を展開していきます。具体的には買換、解約時における店頭販売員からのリサイクルに関する情報提供、自治体への周知協力の要請（資源回収パンフレット等に携帯電話を追加記載）を行い、また、大手家電量販店等における回収BOXの設置協力などにより、消費者への呼びかけを拡大していきます。



[ 専用ロゴマーク ]

### （社）電気通信事業者協会

社団法人電気通信事業者協会は、ネットワーク回線設備を所有する電気通信事業者等約80社で構成される団体。共通の問題処理及び電気通信事業に関する調査研究や情報提供等を通じて、情報通信産業の健全な発展と国民の利便性向上に資することを目的として1987年に設立された。

### 情報通信ネットワーク産業協会

情報通信ネットワーク産業協会は、通信ネットワーク機器、端末機器等の供給事業者等約150社で構成される団体。情報通信技術活用の一層の促進により、情報通信ネットワークに関わる産業の健全な発展を図るとともに、社会・経済・文化における情報利用の拡大・高度化に寄与することによって、豊かな国民生活の実現及び国際社会への貢献に資することを目的として1948年に設立された。

## 相原正道氏プロフィール



東京オリンピック・パラリンピック招致委員会 事業部門マネージャー

1971年東京都生まれ。1996年大学卒業後、IT系出版社編集部を経て、1998年より電通パブリックリレーションズにおいてリサーチ&プランニング部、ヘルスケア（厚生労働省 健康日本21プロジェクト推進）部、イベント部、メディア部、営業部などの各部署を歴任し、数多くの業界・業種をクライアントとして担当。2006年3月、筑波大学大学院体育研究科修士課程 スポーツ健康システム・マネジメント専攻を終了し、6月より東京ヤクルトスワローズ「F（古田敦也選手兼任監督）-PROJECT」メンバーとして活躍。2007年11月より現職。

日本トップリーグ連携機構「文部科学省トップアスリート活動基盤整備事業」プロジェクトメンバー。筑波大学・同志社大学非常勤講師。

著書として、「ロハス・マーケティングのススメ」（ソトコト新書）、「携帯から金を作る」（ダイヤモンド社）。行政、企業、メディア、大学から講演・執筆実績多数有。

## 希少金属等含有製品回収促進協議会

### 概 要

希少金属等を含有する使用済み製品について、販売事業者・メーカー等が進めている既存の回収・再資源化システムによる回収量をさらに向上させるため、行政、関係事業者との連携策を検討する本協議会を平成20年3月に設置しました。

希少金属等含有製品のリサイクルシステムの認知度や回収量向上のため、都内区市町村と連携した広報活動を実施し、貴重な資源であるレアメタル<sup>(注)</sup>等の有効利用に向けた人々の継続的な環境行動を、この協議会を通じて促していく予定です。

### 構 成

[ 特別区代表 ]	足立区、練馬区
[ 市町村代表 ]	東村山市、国分寺市
[ モバイル・リサイクル・ネットワーク ]	(社)電気通信事業者協会（通信系） 情報通信ネットワーク産業協会（機器製造系）
[ 小形充電式電池リサイクル ]	有限責任中間法人 J B R C
[ 事務局 ]	東京都環境局廃棄物対策部計画課

#### (注) レアメタル

地球上の存在量が希少であるか、経済的・技術的に純粋なものを取り出すことが難しい金属の総称。一般的にレアメタルと呼ばれる元素は、タングステン、インジウム、コバルト、プラチナ、レアアース等31種類

## 小形充電式電池リサイクル

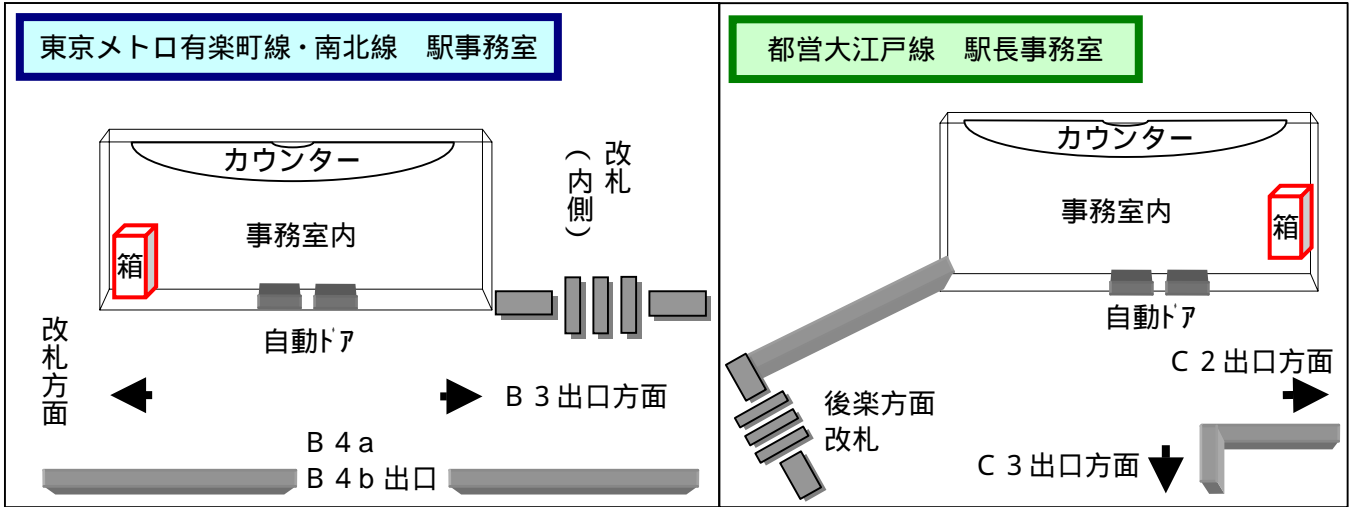
パソコンやデジタルカメラに使われている小形充電式電池には、主な材料としてニッケル、カドミウム、コバルトなどの希少な資源が使われています。資源有効利用促進法に基づき、回収・再資源化が義務付けられている小形充電式電池について、小形充電式の電池メーカーや使用機器メーカー、それらの輸入事業者など270社以上がJ B R Cの会員となり、共同で無償回収・リサイクルを推進しています。

電気製品販売店を中心としたリサイクル協力店など回収拠点は全国に約28,000店あり、回収量は年々増加しています。

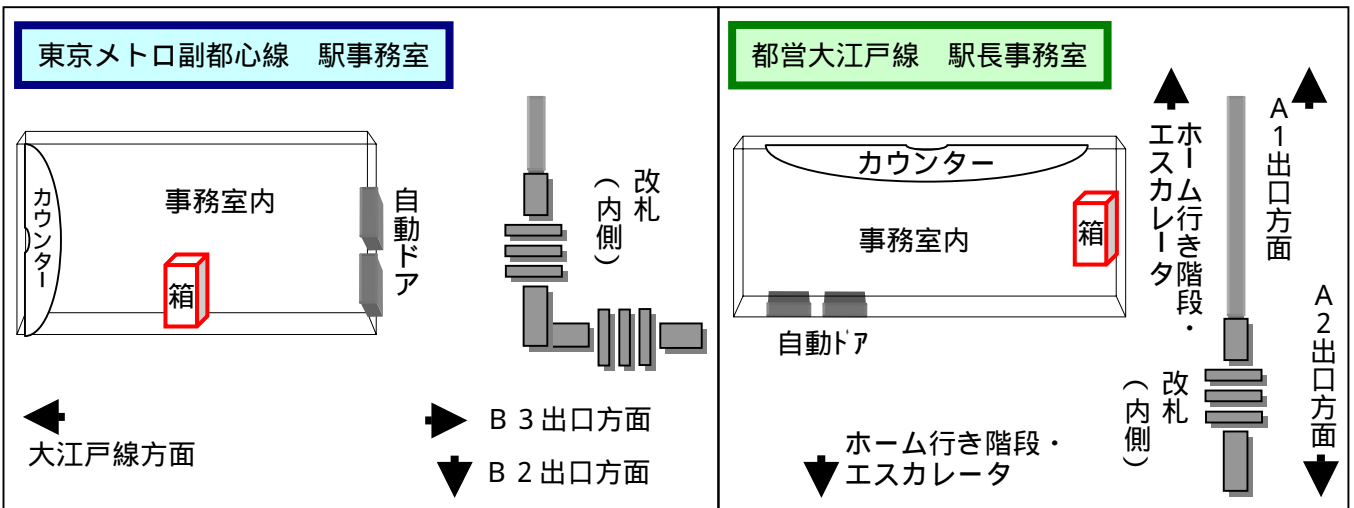


# 地下鉄駅構内 携帯電話回収箱 設置場所

## 飯田橋駅



## 東新宿駅



## 日比谷駅

